

株式会社 全国商店街支援センター

平成29年度 商人塾支援事業

(事業報告書概要版)

実施機関:延岡商工会議所(宮崎県延岡市)

参加商店街:三軒家商店会・大師通り商店街振興組合・サンロード栄町
幸町商店街振興組合・山下新天街商店街振興組合
協同組合祇園町銀天街・協同組合延岡中央商店街
安賀多町商店街振興組合

コーディネーター:中野仁雄 (延岡商工会議所)

個店の魅力づくりと商店街の活性化

地域課題と地域ニーズの把握

企業家精神、商人から経営者としての意識改革

商店街の活性化を図る為のノウハウの取得



カリキュラム

第1回

題名:これからの商店街
講師:中川晴雄氏(オフィス ナカガワ)



第2回

題名:あなたのお店の“ウリ”は何ですか？
講師:中川晴雄氏(オフィス ナカガワ)



第3回

題名:何のためにイベントをするのだろう
講師:矢部久智氏(岡山市表町商店街連盟)



第4回

題名:個店の商売繁盛なくして商店街の活性化なし
～稼げるお店・商店街が明日を創る～
講師:橋本貴之氏(まき鯛車商店街)



第5回

視察研修:
講師:西村秀史氏(臼杵市中央通り商店街振興組合)



第6回

題名:卒塾論文作成と意見交換
コーディネータ:中野仁雄(延岡商工会議所)



第7回

題名:卒塾論文発表
コーディネータ:中野仁雄(延岡商工会議所)

想い

私自身、子供の頃“まち”と言えば、商店街に出ることが楽しく、また友達にも自慢していたことを思い出しますが、大型店が相次いで閉店したのをきっかけに、今までの来街者が郊外や市外の店舗へ流出し、「数年ぶりに商店街へ来てみた」と話すことを耳にすることが多くなってきています。

商店街にも魅力的な店舗は多々あるが、急速に変化する時代の流れに取り残され、「お客をどう呼び込めばいいか？」等、やる気はあるが頭を抱えている人が多く出てきています。

そのような方々が、もう一度輝きを取り戻し、商店街に人が集まり楽しい所になってもらいたいと思い、今回、延岡市商店会連合会と協力し、商人塾を実施しようと思いました。

ねらい

今回、次の2つのテーマを掲げ実施して行った。

1つ目は「個店の魅力づくり」で、現状を踏まえ、本当に「今の商売（事業）のやり方が本当に良いのか？」を考えて頂く為に、商売（経営）の基礎の振り返りが必要と思い、分析、コミュニケーション、情報伝達等の大切さを感じて頂くと共に、実践して頂きたいと思いテーマに掲げました。

2つ目は「商店街の活性化」で、「真の商店街の活性化は、人を集め売り上げに貢献しない一過性のイベントではなく、個店が継続的に営業、繁盛すること」を理解してもらうことテーマに掲げ、塾を進めていきました。

現地調査では、商店街の再生と活性化の手法と共に情報発信の取り組み方について地域に根ざした商店街の成り立ちや隆盛の歴史を活用しながら再生・活性化した成功事例について学びたいとの思いで、実施しました。



コーディネーターから

(できたこと)

自分達が今後「何をしていかなければいけないか」を考え、気づき、問題を共有できたことが1番の成果です。



(できなかったこと)

商人塾を行っている間に、「どのようにイベントを実施し、運営していくのか」「若い力をどのようにして集めて運営していくか」「イベントを行う上で集まった人に対しどのように商売を行っていくのか」等、課題は見つかったが方向性を決めるまでに至りませんでした。

今後に向けて

(商人塾後の変化)

早速、プロモーションの必要性を感じて、自身に足りないHPやスマートフォンを活用した情報提供の勉強をされる方が現れた上、サポート側もHP作成講座の案内など商店街の店舗へ声掛けをしており、すぐにできることから動き始め出しました。

(今後の対応)

「何をすべきか」を卒塾論文で記入していることが自分達に足りないところと理解したと思いますので、行政支援や(株)全国商店街支援センター等のツールを使い、個店及び商店街の活性化に向けて進みながら、若手商業者や支援者の育成にも力を注ぎたいと思います。

卒塾生代表

延岡市商店会連合会 会長 友井康弘

商売をしながら、地域の活動やイベントを続けていくことに限界を感じていました。

この研修ではイベントで疲弊してはいけないということや、個店が繁盛店にならないければ商店街に人は集まらないということを学びました。

今後、商店街のイベントは賑わいを創出するイベントから、個店の売上や経営者の意識を高めるものにシフトしていかなくてはなりません。私たちがお客様から支持されるお店へとなる為に、今後も卒塾した仲間と連携しながら新しい商店街を目指していきたいと思います。

